



《園長のことば》

平成 27 年度 竜光保育園 第 609 号

～人は必ず死ぬのだから いのちのバトンタッチがあるのです 死に臨んで先に行く人が「ありがとう」と云えば 残る人が「ありがとう」と応える そんなバトンタッチがあるのです 死から目をそむけている人は 見そこなうかもしれませんが 目と目で交わす一瞬の いのちのバトンタッチがあるのです～

《いのちのバトンタッチ》 作：青木 新門

暖冬から一変、記録的な寒波に見舞われた 1 月下旬でしたが、ようやく天候もひと段落したようです。

さて、昨日 1 月 31 日に前園長(理事長)の本葬(門徒葬儀)が執り行われました。過日、逝去のお知らせを致しました際にも申しましたが、通夜・密葬・本葬と多くの皆様にご会葬並びにご厚志を賜り有難く、厚く御礼申し上げます。

当園は、創立から 67 年を迎え 2,100 人以上の卒園生を送り出させて頂きました。その中にはお子様からお孫さんまでと 3 代通われているご家庭もあります。そんな当園の伝統を、保護者の皆様からご協力を仰ぎながらまた、子どもたちの笑顔に励まされながら培ってきたのが前園長でした。そんなことを思いながらふと、想起したのが、数年前に話題になった映画『おくりびと』の原案を執筆された作家青木新門さんの上記の詩です。今日は「死」が隠され、遠ざけられている社会です。しかし、死があるからこそ、今生きていることが有難く大切にしなければならないのであり同時に、いのちのバトンタッチがなされるわけです。当たり前のことを…。と思われるかもしれませんが、その当たり前のことが大人にしろ、子どもにしろ認識していないから、いのちがないがしろに扱われるのではないのでしょうか。

特に子どもたちにとっては、近い人や生き物の死は確かに辛い悲しい現実ですが、そこからしか気付くことのできない、出会うことのできない大切な世界観が必ずあります。子どもたちが成長の過程で必ず出会っていくそんな経験は、私達大人が寄り添うことでいっそう、かけがえのないものへと変わっていくはずです。

《～おおはしゃぎのカルタ会と雪景色～》



2 月の行事予定

3 日(水) 節分 17 日(水) 誕生会・身体測定
20 日(土) 作品展・保育参観・試食会
(ていたん & ブラックていたん紙芝居・ダンス)
下旬 避難訓練 ☆3 月 13 日(日) 卒園式



特にがんばったお友だち。取れなかったお友だち、次は絶対とれるから自信をもってね♡



“アンパンマンかるた”にみんな夢中。

園舎探訪 ファイル No.11 ～2 階廊下の 2 本の梁～



何の変哲もなさそうな 2 本の梁(はり)ですが、実は旧園庭にあったさくらと銀杏(いちよう)の樹を用いたものです。前主任が種子から育てた大切なものでしたが、園舎改築にあたり伐採を余儀なくされました。しかし、樹木に対してもあたたかなまなざしを向けるスズキ設計さんがこうして梁としてよみがえらせて下さいました。唯々、感謝、感謝です！

つめたい雪だよ。アイス
クリームみたいだね。



お空までとどけ雪ボール

雪だるまいかが？



クラスだより

《さくら組》 寒さなんか“へっちゃら”で、雪の日もお外で元気に遊んでいます。残り 2 ヶ月で卒園を迎える子どもたち。1 年生になるのが楽しみな反面、“ドキドキ”もあるようです。今月は、作品展に向けていろいろな素材を使って製作活動を楽しみたいと思います。どんなアイデアが飛び出すか今から楽しみです。

《うめ組》 先日の真っ白な雪景色に子どもたちは大興奮。容器に入れていた水が氷になっていたのにも、とても驚いていました。室内遊びでは、カルタやトランプなどを通して、文字や数字に親しみながら楽しんでいます。今月は作品展です。1 人ひとりがイメージを膨らませながら、楽しんで作品づくりに取り組んでいけたらと思っています。

《もも組》 寒い日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱい！雪の日も大喜びで外に出ては雪を握って投げたり、「雪だるまつくろう！」と友だちと誘い合って、スコップで雪を積み上げたりして楽しんでます。毎日の生活の中でも、少しずつですが、お話を最後まで聞こうとしたり、自分の身の回りのことを進んでしようとする姿も見えてきました。

《たんぽぽ組》 先月はこの冬はじめての大雪で、雪だるまを作るなど雪遊びを楽しむことができました。「もうすぐもも組さんね！」と言いながら、身支度など自分でできることは進んでする姿が多く見られます。子どもたちの頑張る姿を見守りながら、いろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

《すみれ組 1 歳児》 雪遊びを体験し、「つめた～い！」と大喜びだった子どもたち。寒さに負けずに元気いっぱい！過ごしています。今月は作品展があります。子どもたちの可愛い作品がいっぱいです。ぜひご覧下さい。寒さはまだまだ厳しいですが、いろいろな経験をしながら、楽しく過ごしていきたいと思っています。

《すみれ組 0 歳児》 0 歳児クラスも残り 2 ヶ月となりました。先月は、初めて見る雪に戸惑いながらも興味津々で、保育士といっしょにさわって雪だるまをつくるなど楽しんでいました。それぞれが、ひとりでできることもたくさん増え、日々の成長をうれしく思っています。まだまだ寒い日が続きますが、体調管理に十分気をつけて過ごしたいと思っています。